

Kretschmer, Albert. Deutsche Volkstrachten, Original-Zeichnungen mit erklärendem Text. 2ed. Leipzig, J.G.Bach,(1880) [1887—1890] 90 plates (litho. col.) 32.7×27.3cm 383. 134-K (文献番号4-32)

Hiler p.510 Colas 1670 Lipp.741

ドイツは、建国以来、さまざまな種族が集合体を形成し、19世紀後半までは数多くの領邦が分立しており、それぞれ歴史的要因や気候、風土の影響を伴いながら極めて強い個性を維持してきた。民族についても同様で、地方ごとに固有な型を示している。

本書は、ハンブルク、ブレーメン、メックレンブルク、ポンメルン、シュレジェン、チューリンゲン、バーデン、バイエルン、ポーメン、チロールなどのドイツ各地方の民族衣装90図を華麗な多色石版画で示し、それぞれの図版には民族衣装の色、型、特徴及び用途などの解説を付している。初版は、1864年から1870年にかけて著者自ら収集、編纂を行い、1880年に刊行したが、広範な読者を得て、第二版が製作された。本書はその第二版で、初版の80枚に加えて新たに10枚、シュレース・ヴィヒ、ホルシュタイン、プロイッシュ・リタウエン、アルザス・ロートリゲン地方が加わっている。図版は、ほぼ初版通りであるが、末尾にある農民服などの詳細図は省かれている。初版の解説にはドイツ語のものとフランス語のものがあり、フランス語の書名はCostumes du peoples en Allemagneとなっている。



北方ドイツ、ポンメルン地方の女子の盛装